

災害情報共有システムの整備に向けて

一般財団法人 関西情報センター
(KIIS)

平成24年12月6日

1. 趣旨・目的

- 21世紀前半に発生が確実視されている「南海トラフ巨大地震」の最大被害想定は、東日本大震災を大幅に上回るものとなっている。
- 東日本大震災の教訓からも、日常からの情報整備と被災時の機動的な情報収集と共有化が必要。
- 行政や企業のニーズに沿い、最新のICT技術を活用した「災害情報共有システム」の整備と活用を、研究・検討する。
- 主査 京都大学 防災研究所 教授 林 春男 氏

2. 「災害情報共有システム」研究会の概要

■ 開催日時

第1回 平成25年1月29日(火) 14時から17時

第2回 // 3月15日(金) 14時から17時

■ 場 所 KIIS会議室

■ 内 容

- ①危機管理に関する最新動向(危機管理のJIS化動き等)
- ②危機管理やBCPの観点から官民の災害情報に対するニーズ
- ③国・自治体等の共有システムの整備状況
- ④災害情報等の整備・提供・共有に関するツール・提供イメージ
- ⑤その他

■ 募集人員 行政および企業の防災またはICT関係者 20名程度

3. 研究会のお問い合わせ・お申込み

■ お問い合わせ先

〒530-0001 大阪市北区梅田1-3-1-800 大阪駅前第1ビル8階
関西情報センター 新事業開発グループ 担当:小島・西田・井川
TEL 06-6346-2641
Mail rstaff@kiis.or.jp

■ お申し込み先

下記 URLよりお申込みください

<http://www.kiis.or.jp/bousai/>

以上